復活節第二主日　2021 年 4 月 11 日　「一緒に祈りましょう」

皆様、
主の希望、信頼、平和のうちに、信仰はわたしたちの盾*です。

4月11日は、復活節の第四主日、「神の慈しみの主日」です。
時間がある時は、家で個人的に、可能であれば、夫婦として、家族と一緒に集まって、一本のろうそくをつけて、沈黙し、十字架のしるしをゆっくり行いましょう。
「聖書と典礼2021.4.11」をお持ちであれば、その流れに従って、次にあるコメントを自由にお使い下さい、少なくとも、聖書を開いて、使徒言行録4章32-35節、詩編118(117)、使徒ヨハネの第一手紙5章1-6節と、ヨハネによる福音20章19-31節を読み、個人的に黙想し、出来れば 神のみ言葉についての分かち合い / 共同祈願を行いましょう。

コメント　アントワン神父

I-　　第一朗読 使徒言行録4章 32-35節　について

使徒たちの宣教の中で、作者ルカは誕生したばかりの教会共同体の一致の姿を理想的なイメージで伝えています。しかし、この書と使徒パウロの手紙によると、初代共同体の中でも、人間関係と権威の問題、活動の分担や一人ひとりの役割の課題、お金の問題などがありました。そういうわけで、これ故、使徒言行録のこのメッセージはどんな難しさ、誤解があっても泉である復活したイエス・キリストの与える平和に戻りなさいと言っています。そして、復活したイエス・キリストの名によって様々な妨げを乗り越え、それぞれが自分のことのみではなく、共同体全体や他人の「利益」を優先して、生活しなさいと言う指導しています。
今も、そのメッセージと呼び掛けを聞き入れることが大切なのではないでしょうか。

II-　　「答唱詩編」118　(117)　について

バビロンでの捕囚時代後、エルサレムに再び建てた神殿で「仮庵祭」の祝いの行列のための感謝の詩編です。特に「家造りの捨てた石が、隅の親石となった。」(22節)は、「メシアが来る」と言う待ち望みのテーマに繋がっています(イザヤ28.16/　エレミヤ51.26)。
ヨハネの福音によるとイエスはこの祭りに参加しました(ヨハネ7.2と14)。そしてこの詩編を歌ったり、暗記したりしました。イエスはこの「捨てた石」のテーマを自分自身に当てはめました。「(ぶどう園と農夫のたとえ)聖書にこう書いてあるのを読んだことがないのか。家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。…」(マルコ12.1-12)。同じように初代教会時代に、使徒ペトロも(使徒言行録4.11/　一ペトロ2.7)、使徒パウロも(エフェソ2.20)、このメシア=親石のイメージで、イエスについて話し伝えました。
復活、「これは神の業、人の目には不思議なこと」ではないでしょうか。

III-　第二朗読　使徒ヨハネの第一手紙5章1-6節について

わたしたちは神を愛するならば兄弟姉妹も同じように愛するのです。それは愛の鉛直の姿(神と人々との愛)と 愛の水平の姿(人と人との愛)なのです。「神から生まれた者」とは、洗礼によって神の子供として生まれ、神のファミリーの一員となった信者たちです。
「この方(イエス)は、水(ヨハネから洗礼を受けたこと)と血(十字架に付けられたこと)を通って来られた方(メシア)、イエス・キリストです。」(6 節)。
　聖「霊」はそれを私たちのために証しています(ヨハネ 14.17 と 16.13−15)。

IV-　ヨハネによる福音20章 19-31節　について

「信じないものではなく、信じる者になりなさい」27節とイエスは12人の使徒の一人トマスに言われました。トマスはイエスの復活を信じるために、イエスを直接に見、聞き、触れることを必要とする弟子のシンボルとなりました。

使徒ヨハネが福音を書いた時期は、イエスの復活から60年ぐらい後と言われています。当時、初代教会共同体の信徒たちは、イエスを直接に見、聞き、触れた経験はありませんでした。しかし、イエスの選ばれた12人の弟子の証言により、キリスト者たちは集まり、イエスの復活の信仰に基づいて、祈り、イエスの教えを思い起こし、イエスの最後の晩餐を記念して行いました。私たちもミサ毎に復活されたイエス・キリストの名によって同じように行います。それは、信仰の道を歩むこと、信じる者になるためなのです。

(沈黙、分ち合いか/共同祈願か)

次に、祈りましょう。(ミサの集会祈願)
「憐れみ深い神よ、あなたは、キリストの尊い血によってわたしたちを贖い、水と聖霊によって新しい命を与えて下さいます．年ごとに主の復活を祝う私たちが洗礼の恵みを深く悟り、信仰に生きることが出来ますように。
　聖霊の交わりのなかで、あなたとともに世に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。」

最後に十字架のしるしをゆっくり行いましょう。「父である神様に感謝」。

「いつくしみのための祈り」を一緒に祈りましょう。 (別紙)

* 「盾」について、　サムエル記下 22.3.31.36 / 詩編 18 / エフェソ 6.16 を御覧下さい。

「いつくしみのための祈り」**"Itsukushimi no tameno Inori"**

主イエス・キリスト、
Shu Iesu Kirisuto,
あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、
Anata wa, watashitachi ga Ten no OnChichi noyôni Itsukushimifukai monoto naruyô oshie,
あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。
Anata o mirumono wa OnChichi o miru, to ooseninarimashita.
み顔を示してくだされば わたしたちは救われます。
Mi Kao o shimeshitekudasareba watashitachi wa sukuwaremasu.
あなたの愛に満ちたまなざしによって、
Anatano Ai ni michita manazashi niyotte,
　ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、
Zakai to Matai wa tomi heno shûchaku kara tokihanatare,
　姦通の女とマグダラのマリアは、
kantsû no onna to Magudara no Maria wa,
　この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。
kono yo no mono dakeni shiawase o motomeru koto kara kaihôsaremashita.
　ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、
Petoro wa anata o uragitta nochi ni namida o nagashi,
　悔い改めた盗人には楽園が約束されました。
kuiaratameta musubito ni wa rakuen ga yakusokusaremashita.
あなたはサマリアの女に、
Anata wa Samaria no onna ni,
「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。
"Moshi anata ga Kami no tamamono o shitteitanara" to katararemashita.
このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。
kono kotoba o, watashitachi hitorihitorini mukerareta kotobatoshite kikasetekudasai.
あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。
Anata wa, meni mienai OnChichi no, meni mieru MiKao desu.
何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。
naniyorimo yurushi to itsukushimi niyotte, mizukarano chikara o shimesareru Kami no MiKao desu.
教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。
Kyôkai ga kono yonioite, fukkatsushi eikôni michiteorareru Shu no MiKao to narimasuyôni.
あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、
Anata wa, gojibun ni tsukaeru mono ga yowasa o mi ni matoi,
無知と過ちの闇の中を歩む人々を、
muchi to ayamachi no yami no naka o ayumu hitobito o,
心から思いやることができるようお望みになりました。

kokoro kara omoiyaru koto ga dekiruyô onozomini narimashita.
これら仕える者に出会うすべての人が、
korera tsukaeru mononi deau subete no hito ga,
神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。
Kami kara hitsuyô to sare, aisare, yurusareteiru to kanjiru koto ga dekimasuyôni.
あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。
Anatano Rei o okuri, watashitachi hitorihitorini abura o sosogi, seinarumono toshitekudasai.
神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、
Kami no Itsukushimi no Seinarutoshi ga, Shu no Megumini michita ichinen to nari,
あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人によい知らせをもたらし、
Anatano Kyôkai ga aratana netsui o motte, mazushii hitoni yoi shirase o motarashi,
捕らわれ、抑圧されている人に解放を、
toraware, yokuatsu sareteiru hito ni kaihô o,
目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。
me no mienai hito ni shiryoku no kaifuku o tsugeru koto ga dekimasuyôni.
この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、
kono inori o, Itsukushimi no Haha dearu Maria no toritsugi niyotte,
御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。
OnChichi to Seirei totomoni yoyoni iki, osamete orareru anatani osasage itashimasu.

アーメン。

Amen.